

櫻井 一隆 議員

問 虹別地区の除雪対策は十分にできているか。

答 虹別の除雪は建設課の指示のもと、民間3社と直営で7時20分までに路線の確保に務めている。



待機する除雪車

渡邊 定之 議員

問 冬期間スクールバス安全運行のため、方向転換スペースを確保すべきではないか。また、除雪車運行等は連絡を密に行うべき。

答 方向転換スペースについては、要望も上がっているのに対応していきたい。委託業者、学校、役場が連携し、連絡を密に行っていきたい。

黒沼 俊幸 議員

問 9月定例会で予算化されている磯分内下水終末処理場は現在、工事が終わりに近づいているが、工事の進捗状況と成果について伺う。



磯分内終末処理場

答 平成28年2月末までの工期だが11月末で主だった工事が完了し12月から試運転を行うこととなっており、今度の工事で処理場は大丈夫との考えである。磯分内地区では他の地区より水温が低いことが問題の原因と考える。

深見 迪 議員

問 いじめの認知件数は何件か。

答 今年度は前期に4件あったがいずれも解決済みである。

問 通学路交差点の歩道、出入り口の除雪、滑り止め対策を。

答 除雪業者とも連絡を取り対策をとっていききたい。



登校時の歩道除雪

問 遠距離通勤が多くなっている教職員の冬期間の通勤の安全確保に配慮してはどうか。

答 子どもたちはもちろん先生たちの安全確保は指導していきたい。

問 役場職員の再任用の人数は、今後増えていくのか。また、再任用の勤務時間、年数は何年か。

答 年金支給開始が伸びていて最終的には65歳になるので増えていくことは想定される。当面勤務時間は4分の3である。今後国の動向を注視していきたい。

◆◆◆◆◆ 平成27年第4回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議 員 名	櫻井 一隆	後藤 勲	熊谷 善行	深見 迪	黒沼 俊幸	松下 哲也	川村多 美男	渡邊 定之	鈴木 裕美	平川 昌昭	本多 耕平	菊地 誠道	館田 賢治	結 果
議案第64号 標茶町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	×	×	欠	○	○	○	原案 可決
意見書案第23号 安保関連法の強行採決に厳しく抗議し、廃止を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	原案 否決
意見書案第24号 義務教育費国庫負担制度堅持等2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	原案 否決
意見書案第25号 国会決議に反するTPP交渉「大筋合意」撤回を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	原案 否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

※お詫びして訂正致します。

第3回定例会賛否一覧で一般会計補正予算で渡邊議員が○になっていましたが×でしたので訂正致します。

総務経済委員会 審査報告

・標茶町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報報告の提供に関する条例の制定について

11月17日の総務経済委員会に付託され、委員会は「原案可決すべきもの」と審査結果を報告し、第四回定例会で賛成多数で可決しました。

意見書

「非婚ひとり親家庭に寡婦(夫)控除の適用を求める意見書」

全員一致で可決し、国の関係機関に送付されました。

第三回臨時会

11月26日、第三回臨時会が開催され、標茶町一般廃棄物エネルギー回収推進施設建設工事(ゴミ焼却場)

費補正予算が提案され、可決しました。
契約金額は、14億9千40万円で



平成二十六年 決算審査特別委員会 総括質疑

深見 迪 議員

問 土地開発基金の積立金を減らし、住民サービスに優先的に使うべきではないか

答 議会とも相談しながら、必要な時期には条例の見直しについて検討していきたい。

問 マイナンバー制度による住民被害、個人情報漏洩を防ぐ対策はできているか

答 住民を守る立場は当然で、住民が安心して暮らせる事は行政の役割だ。今後の大きな課題である。

問 教職員の長時間労働を解消し、子どもと向き合う時間をもっとつくること

答 長時間労働については、課題があると認識している。子どもと向き合う時間の確保は大事なことである。実態調査は今後の課題とする。

問 富士公園や桜公住の児童遊園地など、子どもの安全を守るための整備を急いずること

答 子どもが集まるところなので、安全第一というところで、日々の点検、補修等を行っていききたい。

問 高齢者や特別な支援を必要とする子どもたちを対象とした民間の福祉サービス事業所の評価を具体的にすること

答 社会福祉だけではなく、まちづくり全般にわたって、公平性等々も考えながら検討していく。

渡邊 定之 議員

問 自力での除雪が困難な農村地域での高齢者世帯の除雪対策を

答 ほとんど住宅の玄関近くまであけているが、その都度広くあけるのは作業の時間もあって難しい。

問 特別な支援を必要とする人たちに対する職場適応援助者(ジョブコーチ)による支援事業で、雇用の拡大ができないか。

答 ジョブコーチについてはもう少し勉強していきたい。障がい者の工賃を少しでもアップしていくことを検討していきたい。

問 TPPが大筋合意したが、標茶の基幹産業である酪農等への影響と今後の方向性についてどう考えているか。

答 本町の基幹産業をどうやって守っていくのか、関係機関、生産者が一丸となって知恵を集めて対策を考えていくことが重要だと考える。

櫻井 一隆 議員

問 標茶霊園の通路が傷んでいる。全面修理をしてはどうか。

答 新墓地の工事は二回に分けて造成しており、園路の方も傷んでいる。

ので現在、補修を行っている。

後藤 勲 議員

問 常盤パークゴルフ場の草刈りは高齢者事業団と契約しているが、どのような契約内容になっているか。

答 月何回という回数も含めて契約している。

問 常盤パークゴルフ場内の園路をジョギング、ランニングに利用している。冬期間、除雪はできないか。

答 遊歩道として冬場も除雪しての使用は考えていない。

問 施設案内標識が非常に分かりづらい状態であるが、どう考えるか。

答 今後については都市計画審議会の意見を伺いながら進めていきたい。

本多 耕平 議員

問 豪雪などで破損したスノーポール、ブルーシートを張った法面部分の復旧は、どうなっているか。

【答】 北海道の事業で整備された路線で、今回、道との協議が進行中で、来年度以降の見込みである。

【問】 標茶中茶安別線で標茶側からの工事を国道272側から進めては。

【答】 受益者の多い区間から進めることについては実施の調査設計が済んでいないのではつきりしないが、事業上は支障はない。

総務経済委員会 所管事務調査報告書

○調査日時

平成27年11月26日

○調査場所

標茶町議会議員室

○調査事項

食材供給施設の今後のあり方について

○調査内容

施設担当課職員及び森山副町長から施設の運営主体の変遷さらに今後の運営のあり方の説明を受け、質疑を行った。

○委員会の所見

平成10年4月管理運営者(株)標茶町振興公社により「オーベルジュピルカトウロ」としてオープン以来、食材供給施設として通年運営をしていたが、平成16年3月に休館、16年6月に再オープン、20年3月に休館、21年4月再オープン、25年9月休館、現在に至っている。

開設以来管理運営者が三度変更され、通年運営は無理と判断するとともに食材供給施設自体の今後のあり方は、建物、地域性を考慮し、郷土館としての再出発が最もベストな利用との意見が出された。

塘路住民はもとより多くの町民が施設の再利用を一日も早く望んでいることを踏まえ、利用方法を検討され平成28年度予算に計上すべきと判断される。

厚生文教委員会 所管事務調査報告書

○調査日時

平成27年7月27日

○調査場所

標茶町議会議員室

○調査事項

国民健康保険制度の広域化と町の課題について

○調査の経過及び内容

始めに、説明員より「標茶町国民健康保険制度の現況と国民健康保険の広域化について」資料に基づき説明を受け質疑を行った。

・国民健康保険の加入状況
平成20年度の後期高齢者医療制度のスタートから45%台となっている。
・被保険者と全人口の割合
平成20年度から42%台になり現在は37%台である。

・国民健康保険制度の広域化
タイムスケジュールについては、平成30年4月の新制度スタートの予定だが、新システムの詳細については未発表である。

○委員会の所見

新制度の詳細にわたる内容については、国のほうから示されていない状況である。

り、具体的な内容が示された段階でさらに調査を行う必要があるため、今回の調査は終了する。

○調査日時

平成27年11月13日

○調査場所

標茶町議会議員室

標茶町特別養護老人ホームやすらぎ園

JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周

○調査事項

介護保険施設の現状と課題について

○調査の経過及び内容

① 標茶町特別養護老人ホームやすらぎ園
説明員より「やすらぎ園の状況」及び「指定介護老人福祉施設の重要事項説明書」について資料に基づき説明を受けた。

入居者の状況は、定員100名に対し98名の入居者で、男女別では3対7の割合で女性が多く、年齢構成は80歳以上が最も多い。

② JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周
小林施設長からパンフレットに基づき、施設の概要、施設の基本方針等について説明を受けた後に、施設内を視察しながら説明を受ける。

○委員会の所見

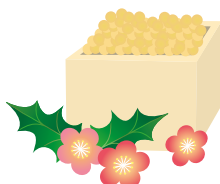
やすらぎ園はかなり老朽化している。大規模改修を以前にも行っているが、施設のリニューアルについては、個室も含めて考えていく必要がある。政策的にも財政的にも計画的に考えなければならぬ。

入居者が寝たきりにならないような、手厚い介護の在り方についてもさらなる取り組みが必要である。

介護度1・2の人たちの実態は、介護をする人や本人の苦勞は相当大きなものがある。介護度1・2の人たちもきちんと介護を受けて生活できるよう意を配じていかなければならない。これらは、今後の早急に取り組むべき大きな課題と考える。

第四回定例会 議会日志から

十一月四日	全員協議会
十一月十三日	厚生文教委員会所管事務調査
十一月十七日	総務経済委員会条例審査
十一月二十日	釧路町村議会議員研修会
十一月二十六日	議会運営委員会
十一月二十六日	第三回臨時会
十一月二十六日	総務経済委員会所管事務調査
十二月四日	議会運営委員会
十二月八日 ～九日	第四回定例会
十二月九日	全員協議会
十二月二十八日	議会運営委員会
十二月二十八日	第四回臨時会



駒ヶ丘に舞い降りた丹頂鶴

編集後記

今年度を振り返ってみれば、平成27年4月には統一地方選挙があり、新しく選出された議員で議会がスタート致しました。又、各委員会の構成も変わり定例議会、臨時議会と合わせて常任委員会活動も行ってきました。

第三回臨時会では、約14億9千万円のゴミ焼却場施設の建設が決まり、第四回定例会ではマイナンバー制度に関わる条例が可決されました。

第四回定例会では、6人で8件の一般質問があり、除雪対策について議論が活発に行われました。

標茶町での食肉加工センター施設の建設については、議会、理事者ともその実現に向けて努力しているところです。

標茶町には、児童福祉や老人医療、介護など多くの問題が山積していることをふまえ、「議会だより」編集委員として議会での議論を出来るだけ町民のみなさんに情報提供していきたいと思っています。

今年が町民の皆様にとって良い年になるようお願い編集後記いたします。

(文責 櫻井一隆)